

# 象成

大宮北小学校だより  
令和5年度 6月号 文責 校長 平野 宗  
<https://tm2.tcn.ed.jp/o-kita/>

明治6年12月に本校の前身として開校された『象成學舎』の名にちなみ、学校だよりの題字を象成（しょうせい）としました。



新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、平時においては換気や手洗い等を行うことで、家庭科や音楽科の学習活動を以前のように実施することができるようになりました。  
5・6年生は、野菜やハム、卵などの食材を使った調理を、グループで協力して行いました。  
包丁の扱いが上手な子、てきぱきと片付けができる子など、その子のよさが生かされ、お互いに認め合える活動になりました。  
今後もより一層、協働的な学びの充実を図ってまいります。

## 仲良しいっぱいの「1年生を迎える会」

入学してから2か月、1年生は楽しく学校生活を送っています。さらに、上級生のよさを感じ、安心して生活できるように、上級生にとっても、1年生とのかかわりを通して、互いに思いやる気持ちを育てるために、児童会主催の「1年生を迎える会」を行いました。



1年生を6年生が案内



6年生がみんなをリード



プレゼントに大喜び

本校の特色の一つである「わくわくチーム（1年生から6年生までの縦割り班）」で、準備してきたプレゼントを渡したり、レクリエーション（自己紹介バスケット）で交流したりしました。

上級生が優しく1年生をリードしている姿や、一緒にレクリエーションを楽しんでいる姿が見られ、仲良しいっぱい・しあわせいっぱいの会となりました。



楽しいレクリエーション



思いやりのあるかかわり



みんなで笑顔の集合写真



元気いっぱい夢いっぱい仲良しいっぱいの大北小



## ふるさとで学ぶ体験学習の充実

本校では、特色ある教育活動の一つとして、様々な体験活動の充実を図っています。



### 2年生の「まちたんけん」



見守りボランティアと一緒に



郵便局の見学

2年生が、生活科の体験学習として、地域の郵便局や幼稚園などを訪問させていただきました。  
班ごとに、保護者の皆様の協力を得ることができ、安全に活動することができました。  
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



### 3年生の「市内めぐり」

3年生が、社会科の体験学習として、市内各所を見学しました。  
栃木市に関する歴史や自然、土地の使われ方の違いについて、くわしく知ることができました。  
渡良瀬遊水地では、貴重な自然に触れる機会となり、改めてふるさとのよさを感じることにつながりました。



出流山満願寺の見学



渡良瀬遊水地の見学



### 4年生の「太平少年自然の家宿泊学習」



大中寺の見学



杉板焼きの体験活動

4年生が、太平少年自然の家で1泊2日の宿泊学習を行いました。  
1日目は、大中寺の七不思議について調べたり、杉板焼きをしたりしました。  
2日目は、ウォークラリーを通して、豊かな自然に触れることができました。

## 「たくましい子」を育成するための取組

教育目標の一つである「たくましい子」を育成するため、子どもたちの体力の実態を把握し、体力向上のための手立てを講じています。

また、水泳学習が始まり、熱中症の危険もあることから、大切な生命を守るための職員研修にも力を入れています。

### ☆ 新体力テストの実施

3～6年生を対象に、子どもたちの体力の状況を把握するための新体力テストを実施しました。

テストでは、50m走、ソフトボール投げ、反復横跳び、立ち幅跳びなど8つの種目を実施しました。

今後は、結果を分析し、体力向上のための授業改善を図っていきます。



### ☆ 体力向上エキスパートティーチャーによる授業



栃木県では、子どもたちの体力向上を図る取組として、5年生を対象とした、体力向上アドバイザー派遣事業を実施しています。今年度は、講師の橋木先生により、第1回目の訪問指導が行われました。

授業では、新体操等の専門性を生かして、体幹を鍛え、柔軟性を高める様々な運動を教えてくださいました。

### ☆ フール清掃・フール開き

6年生が、プール底の土や泥を取り除き、周辺の除草や片付けをしてくれました。6年生のがんばりのおかげで、水がキラキラ輝くプールで学習することができます。

また、校長先生と運動委員会の委員長、副委員長によるプール開きを行いました。委員会の子どもたちは「みんなが安心して、安全に楽しく練習してほしい。」と願いを語ってくれました。



### ☆ 教職員のAED研修



緊急時に適切に対応し、かけがえのない命を守るために、心肺蘇生法やAEDの使い方について研修を行いました。

栃木消防署の方々から説明を聞き、全員で胸骨圧迫による心肺蘇生を繰り返し練習しました。

また、実際の場面を想定して、119番通報や複数名での対応など、具体的な訓練を行いました。

## 「小さな親切運動」の推進

～ 学校と家庭・地域の連携 ～



「小さな親切運動」は、全国的に行われている取組です。

本校では、取組の八か条を大宮北小版として設定し、子どもたちに指導しています。

右記の八か条で示したことは、社会の中で他者と関わる際に必要な礼節や感謝の心です。

小学校段階から学校と家庭・地域が連携して、様々な場面で育てていきたいと考えますので、ご協力をお願いいたします。

子どもたちが、あいさつや親切などの行動ができたときは、たくさんほめてください。

- 1 あいさつをかならずしましょう！
- 2 はっきりした声で返事をしましょう！
- 3 やさしくしてもらったら「ありがとう」といみましょう！
- 4 「ありがとう」といわれたら「どういたしまして」といみましょう！
- 5 みんなで使うものや場所を大切に使いましょう！
- 6 あいての気持ちを考えてゆずり合いましょう！
- 7 人が困っているのを見たら手つだいましょう！
- 8 他人のめいわくになることはやめましょう！

## 小中一貫教育の取組紹介



東陽中の2年生が、職場体験学習として、3日間学校の先生方の仕事について学びました。

学習指導の様子を参観したり、給食指導を手伝ったりしながら改めて教員の仕事について考えました。

中学生からは、「小学生の時はわからなかったけれど、先生は、一人一人をよく見て、指導してくださっていることに気がきました。」と感想をもらいました。



伝えたい想い  
たくさん話そう

東陽中学校区の小中学校では、毎月14日を「トーヨーの日」として、家庭内のコミュニケーションをより深めていくための

『**家族団らんの日**』

としています。